

2025. 5. 21

<配信枚数 3 枚>

報道関係者 各位

立命館大学、ヘラルボニーと協業して日常にアートがあるキャンパスを実現**● 5 月より契約作家 13 名による衣笠キャンパスの仮囲い特別アート展を開始！****● 6 月 1 日（日）開催の「衣笠アートヴィレッジフェスティバル」では
ヘラルボニー契約アーティスト・衣笠泰介氏の特別展示&ライブペイント、
ここでしか買えないオリジナルグッズの販売も実施！**

学校法人立命館（京都市中京区、理事長：森島朋三）は、京都市や衣笠近郊の神社仏閣・美術館等とともに、かつて「衣笠絵描き村」と呼ばれ時代を切り開くアートのイメージを有する場所だった衣笠エリアを、再び世界に向けて芸術の都として発信することを目的に、2025 年 4 月より“KINUGASA Redesign Project”を始動しました。そのプロジェクトの具体的な取り組みの 1 つとして株式会社ヘラルボニーとの連携企画を実施することとなりました。

連携企画の第一弾として、立命館大学衣笠キャンパス内で改装中の施設「充光館」の“仮囲い”を屋外ギャラリーに変え、ヘラルボニー契約アーティスト 13 名による大型アートを施す特別企画を 5 月よりスタートしました。

第二弾としては、6 月 1 日（日）に衣笠キャンパスおよび衣笠周辺エリアで初開催の「衣笠アートヴィレッジフェスティバル」において、ヘラルボニー契約アーティストで、マジカルとも評される色彩感覚と感受性で、何百色もの絵の具から瞬時に色を選んで描き上げる衣笠泰介氏によるライブペインティングをはじめとしたアート企画を開催。あわせて、フェスティバルでのコラボを記念したオリジナルグッズも制作、販売します。学生や地域の皆様が、学びと表現が交差する未来のキャンパスを体感できる 1 日となります。



▲ 充光館改装のため設置中の仮囲い。



▲ 制作中の衣笠泰介氏の様子。

本学は、ヘラルボニーとの共創を通じて、アートと社会、地域と大学が交わる新たな対話の場を創出し、学生や教職員、地域の人々、そして未来の入学生にとっても、日常の中で自由にアートに触れられる場となることを目指していきます。

以上

本リリースの配布先： 京都大学記者クラブ、大阪科学・大学記者クラブ、草津市政記者クラブ**●取材・内容についてのお問い合わせ先**

学校法人立命館広報課 担当：立岩・池田 TEL: 075-813-8300 Email: r-koho@st.ritsumeai.ac.jp

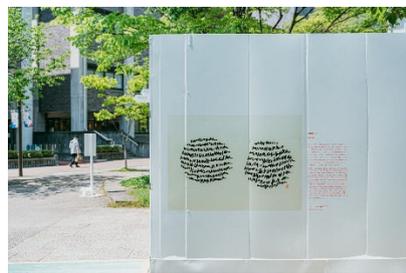
別紙／連携企画概要

① 仮囲い大型アート展示

- ・設置期間:2025年5月～2025年12月(予定)
- ・キャンパス:立命館大学 衣笠キャンパス
- ・住所:〒603-8577 京都府京都市北区等持院北町 56-1
- ・アクセス:JR「円町駅」より市バス約10分、「立命館大学前」下車すぐ
京福電鉄「等持院・立命館大学衣笠キャンパス前駅」より徒歩約10分
- ・展示見学可能時間(仮囲いエリア):午前9:00～午後5:00ごろまで自由観覧可、無料
※屋外のため天候・大学行事により一部見学制限が入る場合があります

<起用アーティスト一覧(13名 / 50音順)>

伊賀敢男留／伊藤大貴／衣笠泰介／小林覚／佐々木早苗／高田祐／竹内聖太郎／鵜飼裕之
／福井将宏／三谷由芙／森陽香／渡邊富弘／marina



▲左から衣笠泰介氏、marina氏、森陽香氏の作品展示

② 「衣笠アートヴィレッジフェスティバル」へのヘラルボニー契約アーティスト衣笠泰介氏参加

かつて絵描き村として親しまれた京都・衣笠のまちから、アートのある新しい風景を広げていく「衣笠アートヴィレッジフェスティバル」では、アート作品の展示やライブペインティング、トークセッションなど多彩なプログラムを予定しています。キャンパスと地域がひとつになってつくるアートの時間。どなたでもご自由にご覧いただけます。(詳細次頁)

③ 数量限定 オリジナルグッズ販売

「衣笠アートヴィレッジフェスティバル」会場では、展示やライブペイントとあわせて、ヘラルボニー契約作家のアートを起用したオリジナルグッズの販売も実施。特別にデザインされたノートやボールペン、アート作品が日常に溶け込むアイテムをラインナップ。数量限定の販売となるため、ぜひ会場ですぐ手に取ってご覧ください。



- ・販売期間:2025年6月1日(日)～
- ・販売場所:6月1日「衣笠アートヴィレッジフェスティバル」会場にて販売
- ・販売アイテム(予定):
 - オリジナルノートブック(税込 990 円)
 - ボールペン(税込 715 円)

※すべて本イベント限定デザインとなります。

※ノートブックとボールペンは、6月1日以降も立命館グッズオンラインショップおよび大学内の生協にて継続販売を予定しています。

※数量限定のため、売り切れ次第販売終了となります。

【参考/衣笠アートヴィレッジフェスティバル】

京都市・衣笠エリアを中心に、伝統芸能をはじめ、アートーク、屋外アートミュージアム体験や模擬店など、子供から大人まで五感で京都とアートを一日愉しんでいただけるアートイベント。



- ・日時:2025年6月1日(日)10:00-17:00
 - ・場所:京都・衣笠周辺エリアおよび立命館大学衣笠キャンパス
 - ・入場料:キャンパス内企画 入場無料
- ※詳しい情報はイベント特設サイトより :<https://www.ritsumeai.ac.jp/kinugasaartfes/>

【参考/株式会社ヘラルボニーについて】

「異彩を、放て。」をミッションに、障害のイメージ変容と福祉を起点に新たな文化の創出を目指すクリエイティブカンパニー。障害のある作家が描く2,000点以上のアート作品をIPライセンスとして管理し、正当なロイヤリティを支払うことで持続可能なビジネスモデルを構築。自社ブランド「HERALBONY」の運営をはじめ、企業との共創やクリエイティブを通じた企画・プロデュース、社員研修プログラムを提供するほか、国際アートアワード「HERALBONY Art Prize」の主催など、アートを軸に多角的な事業を展開しています。2024年9月より海外初の子会社としてフランス・パリに「HERALBONY EUROPE」を設立。

【参考/学校法人立命館について】

1900年、西園寺公望の秘書であった中川小十郎が立命館大学の前身となる「私立京都法政学校」を設立。2025年に、学園創立125周年を迎える。2つの大学と4つの中学校・高等学校、1つの小学校を有し、約5万人の学生・生徒・児童が学ぶ私立総合学園。